

## 熊本地震支援第2班活動報告書

標題の件につき下記の通りご報告いたします。

### 記

- ① 日時 4月18(月)～19日(火)
- ② 参加者 青木 浩朗(つつみ薬局)、水元 俊二郎(スイゲン調剤)、  
橋本 勝史(つばめファーマシー)、木山 允(くどみ薬局)
- ③ 支援先避難所 阿蘇熊本空港ホテル エミナース  
〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2071-1  
TEL 096-286-111
- ④ 行程 18日 6:00 宮崎県薬剤師会館に青木を除く3名が集合  
6:10 出発⇒下道にて小林ICに移動  
7:20 小林ICにて青木合流⇒高速にて移動開始  
9:20 八代IC降りてすぐに給油  
11:20 熊本県薬剤師会館に到着  
11:50 第1班と引き継ぎ  
12:20 熊本県薬剤師会館を出発  
12:50 エミナース到着、JMATと合流  
13:00 打ち合わせ、支援業務開始  
14:30 水元、橋本 広安西小学校へ支援のため急遽移動  
17:30 JMAT移動 薬剤師のみで夜間対応  
20:00 水元、橋本が一時合流  
19日 6:00 各自朝食  
8:30 広安西小学校組が移動  
11:30 広島県薬剤師会モバイルファーマシー到着(薬剤師3名)  
11:50 DMAT、第3班到着 広島の薬剤師、第3班と引き継ぎ  
12:00 JMAT(?)到着  
12:30 引き継ぎを終了し、広安西小学校に移動  
12:50 水元、橋本と合流  
13:20 第2班 熊本県薬剤師会館へ移動開始  
14:00 熊本県薬剤師会館にて終了報告  
18:40 宮崎県薬剤師会館 着

- ⑤ 到着時の医薬品 バイスピリン、セルシン（２）、カロナール（２００）  
デパス（０．５）、ロキソマリン、ロペミン、  
ユナシン（３７５）、ファモチジンＤ（２０）、  
ブロムヘキシン、テプレノンカプセル、オロパタジン（５）  
SP トローチ  
（すべてモバイルファーマシーの薬だったようです）
- ⑥ 到着後の注文品 アイミクスHD、コニール（４）、メバロチン（５）、プルゼニド  
マグミット（３３０）、フロモックス錠、アムロジピンOD（２．５）  
ディオバン（４０）、フスタゾール錠、PL 顆粒、幼児用PL  
クラビット（５００）、カロナール（３００）、ビオフェルミン錠  
フェキソフェナジン（６０）、ニトロペン舌下錠  
ゲンタシン軟膏、リンデロンVG軟膏、オイラックス軟膏  
セルタッチパップ（７０）、モーラステープ（２０）  
メプチンエアー、ホクナリンテープ（１）（０．５）  
※注文はすべて富田薬品（配送時間：18日は5～6時間。19日は3時間程度）
- ⑦ OTC 到着時は０。その後、ホテルの常備薬を入手  
（総合感冒薬２種類、サロンパス、モーラスL40、胃薬など）  
19日、モバイルファーマシーから大量のOTCを提供される。  
返却は不要とのことで、とくに分譲などの手続きはなし。  
OTCは最終的に充実。  
（総合感冒薬数種類、正露丸、胃薬、エアーサロンパス、包帯、  
テーピング、イブなど）
- ⑧ 業務内容 医薬品等の手配。そして医師がいるときは災害処方せんを取り扱う。  
薬剤師のみのときは、症状に応じて医療用医薬品またはOTCで対応  
慢性疾患や精神疾患、外科的な治療を要するもの場合は、近隣の病院が再開し始めてき  
ていたので、受診するよう勧奨。
- ⑨ 持参品 ・アセスメントシート  
・OTC（総合感冒薬、痛み止め、湿布、胃薬）  
・医療用医薬品（解熱鎮痛剤、抗生剤）  
最低でも上記のものは初期支援の段階で持参したほうが、DMATや  
JMATがいなくても薬剤師業務が可能となる。  
また、サインペンやメモ帳、ポストイット、セロテープも、情報を  
整理するために必要であると感じた。

以上